速報　ＪＲ総連緊急対策本部情報
ＪＲ総連 東北地方太平洋沖地震 緊急対策本部情報
2011年３月25日
14：00発行　№19
発行：全日本鉄道労働組合総連合会

頑張ろう！被災者のみなさん。

想像を超える惨状

ＪＲ貨物労組東北地本へ　支援行動レポートvol. 7

【写真上から】仙台臨海鉄道本社の周りに散乱したコンテナ／仙台臨海鉄道機関区／ＪＲ貨物東北地本に集まった組合員／倒れた看板や瓦礫の山

ＪＲ総連は３月24日、ＪＲ貨物労組東北地本に支援物資を届けました。それまで緊急自動車専用となっていた東北道は、一般車両に開放されたとはいえ、走っているのは各県からの消防隊や自衛隊の車列がほとんどです。しかし、仙台に近づくとＳＡのガソリンスタンドには、給油待ちの一般車が目立つようになりました。わざわざ高速道路で給油しなければならないほど、燃料不足は深刻なようです。

萩原副委員長と糸山組織担当部長は、ＪＲ貨物東北地本に到着。森書記長と、仙台臨海鉄道労組の組合員から状況をお聞きし、支援物資を手渡しました。その後、ＪＲ貨物、宮城県、進出企業が共同出資でつくった仙台臨海鉄道の本社を訪問しました。津波の襲来を受けた庁舎の周りには、流失したコンテナや自動車、瓦礫が散乱。すべて破壊されて、どこから手をつけていいかわからないような状況です。

しかし、組合員の職場と仕事、家族との生活を何としても守らなければなりません。ＪＲ総連は、復興への決意を新たにしています。